

日本大学三島高等学校

同窓会会報

第 27 号

平成 10 年 3 月 2 日
静岡県三島市文教町 2
日大三島高校同窓会 発行



御挨拶

会長 高田菊平

会員の皆様におかれましては、お元気にご活躍のことだと思います。皆様のおかげをもちまして、同窓会の活動もつつがなく継続しておりますこと、まずもって会員の皆様に感謝申し上げます。

平成 9 年は丑年でありましたが、牛歩の如くでいいから経済状況が着実に良くなることを念じてきましたのですが、残念ながらご承知の通りの厳しい状況が続いておりまして、思いがけないような銀行、証券そして建設、流通等、大手の倒産などが発生し、ますます不況の波が大きくなるような様がありました。

今年は寅年ですが、「虎は千里住って千里還る」といわれますように、勢いのある姿を表わしていますが、平成 10 年はそんな機敏な行動力をもって全てにおいて活性化をさせたいものであります。

年初に初詣に行きました。その時おみくじを引きま

と「吉」と出ました。そしてその運勢の言葉の中に、「改革の時」とありました。世の中今まさにいろんなところで新らしい胎動が始まっている。それも改革をともなわなければならない時にあると思います。皆様方におかれましても、それぞれの場において、厳しい戦いの連続であると思いますが、厳しい時は、苦しい時は皆同じようにそうであり、それを変動の運気として大いに活用して、虎の如く行動力を發揮し目標にむかって邁進することが必要だと思います。厳しい時、逆風の時こそチャンスだ。チャンスととらえるかは心のもちようだ。行動の仕方だと思います。

今年は今まで以上に「元気」をだしてこの時期をのりきっていきましょう。

会員の皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念し、又、相変わらせず同窓会の活動にもご尽力いただきますようお願いいたします。又、皆様方のまわりにあります同窓生に、たくさんの声をかけていただき、ますます同窓会としての輪が広がっていきますように、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げ御挨拶をいたします。

（H10年1月19日）

第 1 期生・ニューデルタ工業株式会社社長
(三島市梅名)

思 索



希 望



自 由





今年もよろしく

校長 山内昭二

平成9年度の卒業生1,009名が新たに同窓会に入会し、同窓生の総数は41,195名になりました。少子化の波は高等学校にも押しよせ、年々入学して来る生徒が少なくなり、1学年で千名を越える学年は、この38期生が最後になります。本校も開校以来39周年を迎える、来年度は40周年になります。

本来ならばお祝いの式典を行なうところでしょうが、昨年キャンパス50周年をお祝いしたばかりであることと、50周年を目指して全ての行事・力を結集し、新しい校舎のもとで盛大に式典を挙行したいと考え、50周年まで見送ることにいたしました。50周年の折には、同窓会の皆さんに、是非、力強いお力添えをお願いしたいと思います。そこで、今学校では、少子化の時代を迎え、21世紀に生きる若者を育成するためにはどんな教育が必要なのか、新教育課程のもとで実施されるゆとりと心の教育とは何か、個性を尊重した教育とはいかにあるべきか等いろいろな問題の解決に向けて努力すると同時に、これらの教育をおし進めるための学校施設にはどんなものが必要なのかを検討し、新校舎の構想をまとめています。1~2年のうちに姿を現わして来るものと期待しています。

本年度卒業する3年生の1月31日現在の進路状況は次のようになっております。

四年制 日本大学各学部415名、他大学49名（内国立大5名）、計464名、短期大学 日本大学各短期大学部171名、他短期大学54名（内公立短大2名）、計225名、以上の大学進学者合計689名、68.2%の人達が既に大学進学を決定しております。この他では、専門学校73名、就職13名が決定し、進路決定者は合計775名となり、全体の76.8%の生徒の進路先が決定しております。四年制、短大共に昨年の11月からはじまった推薦入学の結果です。受験による入試は今はじまつばかりです。これから国公立大をはじめ、各私立大学の受験がはじまります。約200名の生徒が挑戦します。3月に良い結果が出ることを祈っております。これらの詳細にわたる進路状況については、平成10年度の校報に掲載いたしますのでご覧下さい。

3年生の部活動では、放送部が相変わらずの活躍で、県大会を勝抜いて全国大会に出場し、文部大臣賞は逃しましたが、研究発表部門で第3位に入賞しました。美術部では今年の夏の全国高校野球選手権大会ポスターコンクールで金賞をとり、地区大会のポスターになりますのでご覧下さい。陸上部で砲丸投、水泳部の男子200米自由形・女子の団体、テニス部・スケート部・山岳部が優秀な成績を収め、テニス部男子が連続して全国選抜大会に出場いたします。一時の華々しさはありませんが、文武共に着実な成果を上げております。同窓生の皆様には、暖いご支援を今後共、よろしくお願い致します。



歓迎の言葉

はじめての卒業生を送り出して

竹中 朝崇 (28期)



3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。私もこの3年間、皆さんと同じように上っていく、教員としてはじめて卒業生を送り出すことになりました。時の経つのは早く、また皆さんの成長ぶりにも驚いています。

私は今からちょうど10年前、この日大三島高校を卒業しました。高校時代は毎日片道2時間かけて通い、授業中は眠くてよく寝ていたり、電車の吊革につかまつたまま寝ていたなど苦労して通ったことをよく憶えています。その他にも苦しかったこと、楽しかったこと、この学校

での生活は昨日の時のように思い出されます。

当時、教員になることが夢であり、目標であった私。この10年間いろいろなことがありました。教員になることをあきらめたこともありましたが、現在縁あって母校の教壇に立っています。このような機会は少ない中で、今回卒業生を送り出すこととなり大変うれしく思います。

卒業生の皆さん、高校を卒業してからの日々の方が長いはずです。今の自分に自信をもち、いろいろなことにチャレンジしてほしいものです。もし、壁にぶつかったときは立ち止まってもいいのでは。たまには母校を訪ねてみるのもいいですよ。

新人類といわれた私たちも、高校を卒業して10年。世間ではどのような評価をされているのか知りません。どのような評価でも、私はこれから自分に正直に生きていきたいと思う。肩・肘はらずに気楽な人生を。(母校教諭)

クラス幹事

1組 岩本直樹	13組 松本和也
2組 桜井弘人	14組 岩下和敬
3組 立木純一	15組 椎名孝文
4組 松井正	16組 佐野智彦
5組 岩崎健二	17組 山本真太郎
6組 鈴木里奈	18組 秋元健
7組 宮本智広	19組 山本達也
8組 久保千草	20組 岩田剛
9組 土屋有秀	21組 藤原正昭
10組 米山剛	22組 伊藤亮
11組 木立知明	23組 菅沼文秀
12組 山田俊明	24組 古瀬貴裕

以上の人たちが、各クラスの代表幹事です。将来、クラス会などをひらくときには、上記の幹事を中心として、連絡をとり合ってください。

幸多き人生であることを祈ります。



各支部長一覧

支部名	三島	田方	沼津	御殿場	富士	富士宮	静岡	熱海	小田原
氏名	永井嘉大	山田守宏	今井信之	武藤康徳	西村雅幸	秋山一雅	杉山智彦	谷口俊司	川口功一
住所	駿東郡長泉町納米里一〇四一三	田方郡大仁町立花三一二三三	沼津市市場町一〇一	御殿場市二枚橋五一四一四	富士市横割六一二一五	富士宮市浅間町四一一五	静岡市西千代田町一一三一	熱海市上多賀九二〇一	小田原市東町四一五一一〇
TEL	(〇五五九)八七一七三七〇	(〇五五八)七六一五〇〇二	(〇五五九)三一一七八七八	(〇五五〇)八三一〇四二二	(〇五四五)六一一五一七五	(〇五四四)二六一三八四七	(〇五四四)二四七一六三九五	(〇五四七)六八一四〇二二	(〇四五)三四一三五三七

入会の言葉

最善をつくす

38期生代表 金田 美華



私達、平成9年度卒業生は、3年間の教育課程を全て終了し、日大三島高校での3年間の教えを胸に、はれて第38期生として同窓会に入会させていただくことになりました。

日大三島高校の長い歴史の中で、大勢の先輩方が旅立ち、各界で立派に、大成されていらっしゃいます。そんな先輩方の話を耳にすると、あらためて本校の素晴らしいを実感いたします。

私達は、日々の生活の中で、「後ろを振り返る」ということをあまりせずに、何もわからないまま今日まで歩んできました。何かの目標に向かう時でも、自分自身の努力に気をとられ、周りに多くの仲間がいるということを忘れがちでした。また、何か一つの事を為し遂げるの

にも、その背後に先輩方の大きな力があることを知りませんでした。

しかし、今、卒業を前にして、その大きな力を痛切に感じています。

私達は、これから先、自分の新しい道へ一歩踏み出す訳ですが、その向こうには、これまで以上の責任感や多くの困難が待ち受けていることでしょう。私達は、高校時代の素晴らしい思い出を励みに、これらを乗り越え、明るい未来を切り開いていきたいと思います。

そして、これからは、私達が後輩の雨風をよけられるような存在になれるよう、その場その場で最善をつくし、頑張っていきたいと思いますので、先輩の皆様の変わらぬご指導のほど、よろしくお願ひいたします。

金田美華さんは、男女共学になってからは二人目の生徒会長をつとめました。そして、同窓会入会後は、38期生の代表幹事をつとめてもらうことになります。将来、同期会などをひらく時には、金田さんを中心として、皆さんで協力して、同窓の輪を広げてください。必ずやよき人生を歩むことができるでしょう。

同窓会総会 平成9年10月22日

平成9年度の総会は、10月22日、例年のごとく田代パレスにおいて開かれた。昨年は、岩崎恭子さんを迎えての華やかな総会であったが、本年度は特に大きな話題もなく、会の事業運営を中心としてすすめられた。三島支部と静岡支部においては、それぞれ、永井嘉大氏（2期）と杉山智彦氏（2期）の二人が新たな支部長となつた。

懇親会においては、各支部の出席者紹介があり、にぎやかな時を過ごした。



平成9年度 事業報告

1 総会 10月22日 田代パレス

- (1)会長挨拶 (2)母校校長挨拶
- (3)議事（事業報告・決算報告・役員改選・事業計画・予算の件） (4)懇親会

2 幹事会

- (1)10月9日 田代パレス 総会について
- (2)1月23日 田代パレス
入会式準備・会報発行・表彰について

3 事業

- (1)2月21日 第38期生入会式 母校8号館
表彰（奨学金）青木優太君
記念講演「私の野球人生」
講師 加藤博一氏
- (2)3月2日 同窓会会報第27号発行

4 支部

- (1)御殿場支部 4月20日 ホテル御殿場館
- (2)静岡支部 5月14日 日興会館
- (3)三島支部 6月20日 田代パレス
- (4)御殿場・三島支部合同 8月23~25日

北海道視察研修

5 その他

桜樹会（熱海市役所） 7月12日（歓迎会をかねて、山梨県石和方面へバス旅行）

幹事会

平成9年度は、10月9日と1月23日の2回おこなわれた。総会や入会式、その他の行事を実施するための話し合いがされている。この会で承認されたことが実行に移されていく。



田代パレスにて1月23日

同窓会入会式 平成10年2月21日(土)



高田会長挨拶



- 同窓会会長挨拶
- 母校校長挨拶
- 新入会員代表挨拶
- 出席役員・幹事紹介
- 卒業記念品贈呈
- 表彰・奨学金授与



—記念講演—

元プロ野球選手
現野球解説者
加藤博一
テーマ
「私の野球人生」

青木優太君に奨学金がおくられる



同窓会は表彰規定にもとづき、
青木優太君に奨学金（5万円）
をおくることになりました。

この奨学金は母校在学中において、学業成績・人物・自治活動・健康に優れ、有為な人物として校長より推薦された人におくられます。青木君の将来にわたっての活躍を期待します。

御殿場支部総会 平成9年4月20日



新入会員に キー ホルダーが おくられる

今年も第38期生の卒業を祝い、記念品としてキー ホルダーがおくられます。小さくさやかなものではありますが、身近に置いて使ってください。
皆様のご活躍を祈ります。

三島・御殿場支部 北海道へ 平成9年8月 「石原裕次郎をしのぶ会」



支部だより

静岡支部(静桜俱楽部) の活動報告

支部長
杉山智彦(2期)



平成9年5月に総会を行いました。その席上、平成5年の設立準備会、平成6年2月22日の設立総会と静桜俱楽部の礎を築いてこられた初代支部長の大澤先輩からバトンタッチをされ2代目支部長の大役をおおせつかってまだ1年足らずの新人支部長です。初代大澤支部長を中心とした執行部の方々が組織固めをしていただいたおかげで現在200名を越える会員数となりました。私としては現在の執行部の人達のご協力を得てさらに継続発展させていかなければならぬという大きな責任を感じています。9年度の活動としては7月に70名程度の出席者によるビアガーデン例会を実施し互の交流を深めました。今年に入っては日大三島出身者で現在多方面で活躍されているOBに講師をお願いした講演会を予定しています。現在静岡、清水両市の合併問題が話題となっていますので、将来は静岡、清水の両支部も一つにまとまつたらもっとすばらしい同窓会が出来るのではないかと思っております。何分不慣れな者ですので、他支部の活動など支部間の情報交換も密にしていきたいと思っております。静桜俱楽部をよろしくお願ひいたします。(トヨタカローラ静岡社長)

御殿場支部の 活動を省みて

支部長
武藤康徳(1期)



平成8年10月20日に経団連のゲストハウスで盛大な設立総会を開催し、新しいスタートを始めた御殿場支部ですが、熱心な幹部の皆さんに支えられ、どうやらここまでたどり着くことができたというのが正直な感想です。

この1年3か月の間に、三島支部、静岡支部の総会に出席させていただきました。また三島支部の皆様と共同で、平成9年8月23日から25日にかけて、二泊三日で北海道へ「石原裕次郎をしのぶ会」という名称を付けて、視察旅行を計画し、14人の校友の参加を得て大いに親睦を深めました。(5ページに写真あり)

平成9年4月20日には、第一回御殿場支部総会を開催

し、60人余の校友の参加のもとに、若手落語家による寄席ばやし、日本移動通信株式会社の塚田社長の講演をいただき、大変に盛り上がった総会となりました。

平成10年を迎え、当支部はまだまだ組織として不十分な面が多いため、本年はさらに幹部の皆さんと協力し、組織の充実に努めて参りたいと考えています。

関係者の皆様方の、より一層の御協力と御支援をお願いいたします。
(御殿場市役所市民生活部次長)



平成10年の新春を迎えて

支部長
川口功一(3期)

平成10年を迎えて同窓生の皆様におかれましては健やかにお過しのことと思います。昨年、原稿の御依頼を受けまして希望的観測を認めてから一年も経てしまい行事を取行わねばならぬ気持ちばかりが先行して自らの業に明暮れている一年間がありました。前回日本大学三島高等学校同窓会の会報を全卒業生に送附いただきましたことは、今まで同窓ということを忘れていた卒業生の多くに改めて日本大学三島高等学校の各年度の思い出を呼び起こしてくれる好材料になったのではと、この企画にうれしく思っております。前回の投稿に書いたかもしれませんのが、同窓生の数は小田原以東、神奈川県、東京都を含めると約三五〇〇人の多さにわたります。同窓会報を送附された後に私共にお声掛け戴いた同窓生が多くございました。しかしながら御協力戴ける皆様に支部としてなんの企画(準備委員会)も出来なかったことは小田原支部を担当するものとして些か反省をせねばならぬと考えております。不況が続き、又、経済人にとっては、厳しい平成10年ではありますが、なにかの企画を支部長として皆様にお計りした時に多大な御協力を下さるよう念じて寄稿文を閉じさせて戴きます。

(三協設備株式会社代表取締役)



若い力に 期待を込めて

支部長
永井嘉大(2期)

はからずも支部長を引き受けることになった。前支部長、田中哲雄氏の献身的な活躍が現在の支部を築いて来たいき

さつを思うときやや不安もあったが、9年度の総会に向けて活動を開始した。幸運にも若さと行動力溢れる支部役員に恵まれ、6月20日（金）田代パレスにおいて70名の出席のもと和やかな雰囲気の中で盛会のうちに終わることができた。また、年末には忘年会を兼ねて幹事会を開催し、次年度に向けての新企画について話し合った。

母校から卒業生に校報が送付され、母校の様子を知る機会が増えた。大変ありがたいことである。中高生が主役の事件が新聞紙上を賑わす時代にあって、子が希望し、親が子に薦める高校こそが理想である。わが子を母校に進学させ親子2代の同窓生も年々増えている。母校と同窓会が共存し、若い力に期待して、三島支部のさらなる発展を願っている。（三栄株式会社代表取締役）



田方支部のこれから

支部長

山田 守宏（3期）

第38期生の皆様が、日大三島高校同窓会に入会されることを、心よりお祝い申し上げます。田方支部は、函南・韮山・長岡・大仁・修善寺・中伊豆・湯ヶ島という広い地域から成り立っています。おのずと、人と人との関係も各地区ごとに深いものがあると思っています。そこで田方支部としましては、日頃の絆はぜひともその地区を中心として育てていくのがよいと考えています。もちろん支部としての会も大切にしながら、同窓の輪を保ち続けて行きたいと思います。今、日本の社会は様々な面で苦難の時にあります。こうした時こそ、同窓を大切にしたいものです。また日々、ささやかであっても支部会をひらきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

（駿豆建設代表取締役専務）

テニス部男子全国大会へ

藤井敬樹先生（6期）率いるテニス部男子は東海地区予選において、4年連続6回目の優勝を飾った。この結果、平成10年3月22日から北九州プリンスホテルテニスセンターでおこなわれる、全国選抜高等学校テニス選手権大会への出場が決った。この栄光は10年連続10回目のものである。

なお、全国大会においては、3年連続3位、過去4回3位の実績がある。健闘を祈るものである。



大武昭治先生 定年退職される

大武昭治先生は、平成9年10月27日付をもってめでたく定年退職されました。

先生は、昭和35年4月1日、母校普通科の数学科に赴任されました。その後、工業科機械科に所属し、応用力学や設計製図等を担当された後、普通科にもどられました。学年・校務の仕事としては、学年主任・厚生主任・保健主任などの任を遂行されました。また、部活動においても、体操部・自動車部・書道部などの顧問をされ、実際に様々な面から人間味あふれる指導をなされました。

先生のさらなるご活躍をお祈りいたします。

卒業生からの提言

田原由規さん

（21期生）



母校では、進路選択シリーズ・「卒業生からの提言」と題して、進路選択の講演会を開いた。その第1回目として、伊豆三津シーパラダイスで海獣主任を務めている田原由規さん（21期生）が講師となった。田原さんが設定したテーマは、「愛情物語・イルカとともに」で、飼育係を通しての調教方法などを説明した。また、「自分が好きなことでなければ長続きしない。自分のやりたいことを早く見つけ、努力してほしい。」と激励した。今回の対象は1年生であり、進路について考えるのは早ければ早いほど良いという意図がある。

人生と進路について考え、確かな職業を選択することが困難な時代になっている。日大三島に学ぶ者が、未来において大いに活躍することを祈念するものである。

日本大学三島高等学校

同窓会規約

ならびに常任幹事によつて構成され、必要により幹事会にかえることができる。幹事会は本規約上、必要と認めた場合に臨時に特別の機関を設けることができる。

第三節 支部会

本規約は日本大学三島高等学校同窓会規約第五章第三条に基づき、その適用細則を定めたものである。

第四節 事務局

事務局は幹事会のもとで本規約を円滑ならしめるよう務める。事務局は幹事会より委嘱された者をもつて構成する。

第五節 編集委員会

編集委員会は幹事会に所属し、原則として年一回の会報発行、その他、本規約上、必要な広報の任にある。

第二十一条 役員

編集委員会は幹事会より委嘱された者をもつて構成する。

第二十二条 会長

会長一名、副会長四名、幹事長一名、副幹事長三名、常任幹事、幹事、会計監査二名。

第二十三条 副会長

副会長は幹事会の推薦により、総会の決議をもつて選出する。会長は本規約上、必要な広報の任にある。

第二十四条 副幹事長

副幹事長は幹事会を代表し、本規約の責任を負う。

第二十五条 副幹事長

幹事は各卒業学年の代表者が当たり、学年の意見を代弁し併せて会務を分担する。

第二十六条 常任幹事

常任幹事は各地區支部会の代表者が当たり、地区の意見を代弁し併せて会務を分担する。

第二十七条 会計監査

会計監査は総会において選出され、経理を監査し、総会にその旨を報告し承認をうける。

第二十八条 副幹事長

各役員は総会の承認を経て、その任につき職務にあたる。任期は二年とする。但し、重任はさまたげない。

第二十九条 会計

本規約の経費は会費ならびに寄附をもつてこれに当てる。正会員は卒業時に終身会費を日本大学三島高等学校会計課に納入する。

第三十条 会計年度

本規約の会計年度は四月一日より翌年三月三十一日までとする。

第三十一条 表彰

本規約に貢献したものは会長が幹事会の議により、総会の承認を得、これを表彰することができる。

第三十二条 その他

顧問は会長がこれを委嘱し、本規約上、必要な広報の任にある。

第三十三条 入会式

会員として名譽を毀損する行為があつたときは、会長が幹事会に常任幹事会を設ける。常任幹事会は幹事会の役職員

第三十四条 改正施行

改正施行昭和三十六年三月十一日

平成七年十月二十一日

表彰規定

前文 本規定は日本大学三島高等学校同窓会規約第五章第三条に基づき、その適用細則を定めたものである。

第一条 本会員にして、社会的に顕著な業績をあげた者

に対し、所定の手続きを経て表彰することができる。

日本大学三島高等学校に在籍する者で、将来、国

家社会に貢献し、母校及び本規約上、必要な広報の任

に対する有為な人物及び団体に

対し、奨励金または奨励金

を支給することができる。

(一) 奨励金の支給をうける者は、最終学年に在籍し、在籍期間中、学業成績・人物・自治活動・健康に優れ有為な人物として学校長より推薦された者とする。ただし奨励金は一名を原則とする。

(二) 奨励金の支給をうける団体は、生徒会所属の団体で、顕著な業績をあげ更に一層の充実・発展が期待されるものとして、校長より推薦された団体とする。ただし奨励金は一団体を原則とする。

第三条 第一条、第二条の表彰式は、年度末とし、総会または入会式に行う。

付 本規定は昭和五十二年二月十二日より施行する。